

面積 (1)

～ 定積分と面積 ～

講師
川崎 宣昭

曲線や直線で囲まれた図形の面積を、定積分を用いて求めます。今回は、三角形、台形、 $f(x) \geq 0$ となっている図形の面積を求めます。

学習のポイント

- ① 三角形や台形の面積と定積分との関係
- ② 定積分を用いて図形の面積を求める方法
- ③ $f(x) \geq 0$ となる場合の面積

1 三角形や台形の面積と定積分との関係

図形の面積と定積分の関係を考えます。

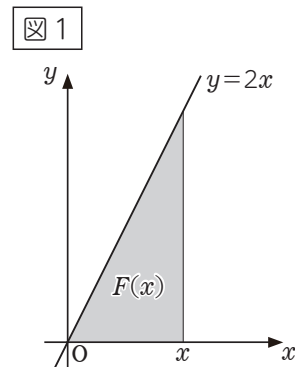
図1のグレーの三角形の面積は、底辺の長さが x 、高さが $2x$ の直角三角形なので、面積 $F(x)$ は、

$$F(x) = \frac{1}{2} \times x \times 2x = x^2$$

ここで、

$$F'(x) = 2x$$

になっているので、 $F(x)$ は関数 $y = 2x$ の不定積分の1つになっています。



次に、下の図2の斜線部分の面積を求めてみましょう。

求める面積は、図3の水色の部分の面積から図4の緑色の部分の面積を引けば求められます。

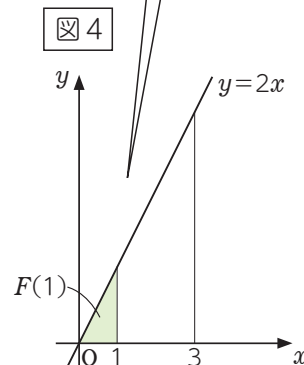
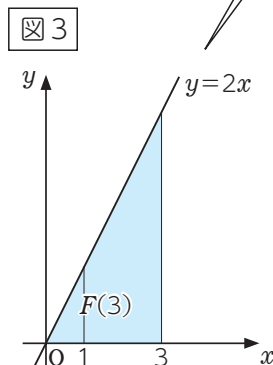
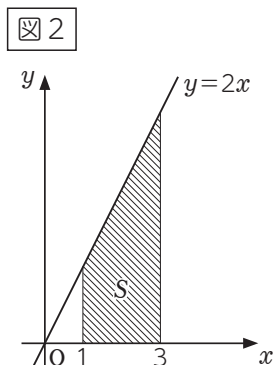
図3の水色の部分の面積は $F(3)$ 、図4の緑色の部分の面積は $F(1)$ なので、

$$S = F(3) - F(1) = 3^2 - 1^2 = 8$$

これらのことから、

$$S = 3^2 - 1^2 = [x^2]_1^3 = \int_1^3 2x dx$$

が成り立ちます。



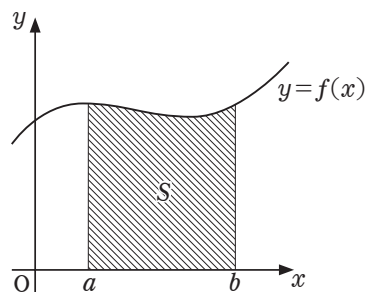
大きい三角形の面積から、小さい三角形の面積を引けば、 $x = 1$ から $x = 3$ の範囲の面積がわかります。

他の関数の場合も同様のことがいえます。
 まとめて、以下ようになります。

定積分と面積

$a \leq x \leq b$ で、 $f(x) \geq 0$ のとき、
 曲線 $y = f(x)$ 、2直線 $x = a$ 、 $x = b$
 によって囲まれた部分の面積 S は、

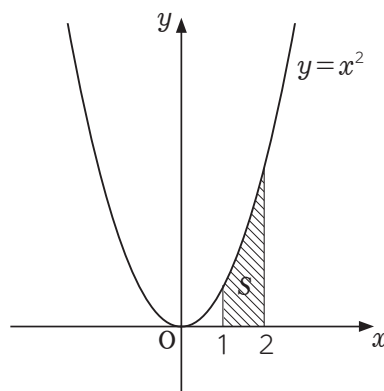
$$S = \int_a^b f(x) dx$$



2 定積分を用いて図形の面積を求める方法

例 曲線 $y = x^2$ と x 軸および2直線 $x = 1$ 、 $x = 2$ で囲まれた図形の面積 S を求めなさい。
 $1 \leq x \leq 2$ 、 $x^2 \geq 0$ であるから、

$$\begin{aligned} S &= \int_1^2 x^2 dx = \left[\frac{x^3}{3} \right]_1^2 = \frac{1}{3} [x^3]_1^2 \\ &= \frac{1}{3} (2^3 - 1^3) = \frac{1}{3} (8 - 1) \\ &= \frac{7}{3} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$



3 $f(x) \geq 0$ となる場合の面積

例 曲線 $y = -x^2 + 5$ と x 軸、および2直線 $x = -1$ 、 $x = 2$ で囲まれた図形の面積 S を求めなさい。

解答 $-1 \leq x \leq 2$ で $-x^2 + 5 \geq 0$ であるから、

$$\begin{aligned} S &= \int_{-1}^2 (-x^2 + 5) dx = -\int_{-1}^2 x^2 dx + 5 \int_{-1}^2 dx \\ &= -\left[\frac{x^3}{3} \right]_{-1}^2 + 5[x]_{-1}^2 = -\frac{1}{3} [x^3]_{-1}^2 + 5[x]_{-1}^2 \\ &= -\frac{1}{3} \{2^3 - (-1)^3\} + 5\{2 - (-1)\} \\ &= -\frac{1}{3} (8 + 1) + 5(2 + 1) = -3 + 15 \\ &= 12 \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

